

## 中学校選択制度に関するアンケート（校長、副校長、教員）

〔回答状況〕

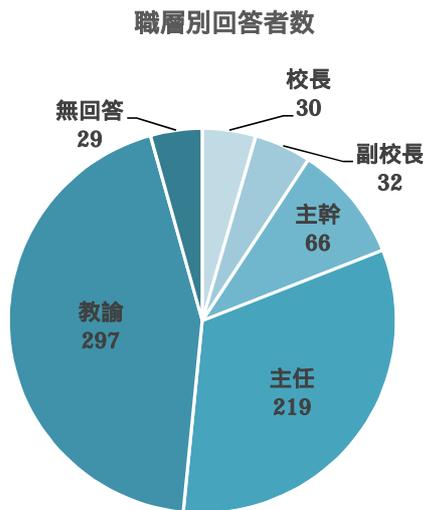
区立中学校校長・副校長・教員 送付数 822 回答数 673 回答率 81.9%

問1 あなたの学校の1年生(小中一貫教育校7年生)の学級数およびあなたの職名を教えてください。

【学級数】 ア 1～2学級                      イ 3～4学級                      ウ 5学級以上  
 【職名等】 ア 校長                      イ 副校長                      ウ 主幹教諭(主幹養護教諭)  
                     エ 主任教諭(主任養護教諭)                      オ 教諭(養護教諭)

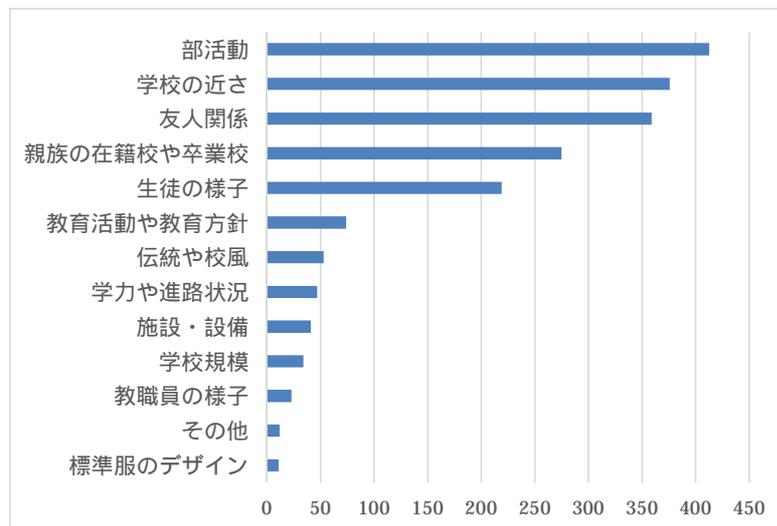
表1 教員回答者 属性 (人)

学級数	校長	副校長	主幹	主任	教諭	無回答	計
1～2学級	3	3	7	12	22	3	50
3～4学級	16	14	35	109	170	19	363
5学級以上	9	10	19	80	95	6	219
無回答	2	5	5	18	10	1	41
計	30	32	66	219	297	29	673



問2 学校選択制度において、生徒や保護者は、どのような理由によって学校を選んでいると思いますか。（ は3つまで）

1 兄・姉・親族の在籍校や卒業校	275	14.2%
2 友人関係	359	18.5%
3 学校の近さや通学のしやすさ	376	19.4%
4 学校の教育活動や教育方針	74	3.8%
5 学校の伝統や校風	53	2.7%
6 標準服のデザイン	11	0.6%
7 生徒の様子	219	11.3%
8 教職員の様子	23	1.2%
9 部活動の有無や活動状況	413	21.3%
10 学校の施設・設備	41	2.1%
11 学力や卒業生の進路状況	47	2.4%
12 学校規模(生徒数・学級数)	34	1.8%
13 その他	12	0.6%
計	1,937	



< その他の意見 >

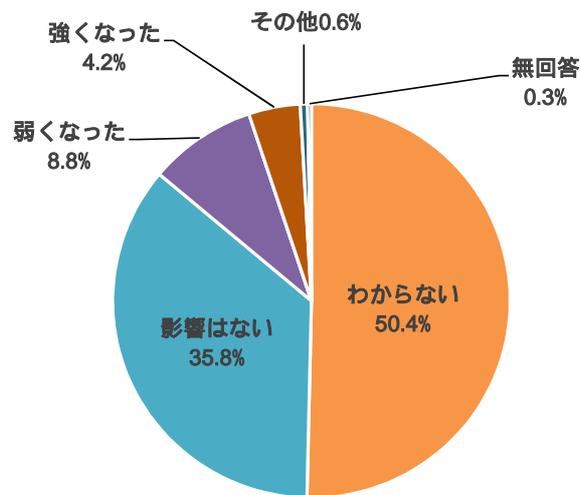
- ・ 地域や学力など周辺の評判
- ・ 生活指導の厳しさ
- ・ 評価・評定のとりやすさ
- ・ 噂等による学力
- ・ 学校が落ち着いているかどうか
- ・ ネット上の口コミ

問3 学校選択制度は、「特色ある学校・学ぶことが楽しい魅力ある学校づくりの推進」につながっていると思いますか。（○は1つ）

1 思う	60	8.9%
2 どちらかといえば思う	188	27.9%
3 どちらともいえない	225	33.4%
4 どちらかといえば思わない	114	16.9%
5 思わない	81	12.0%
無回答	5	0.7%
計	673	

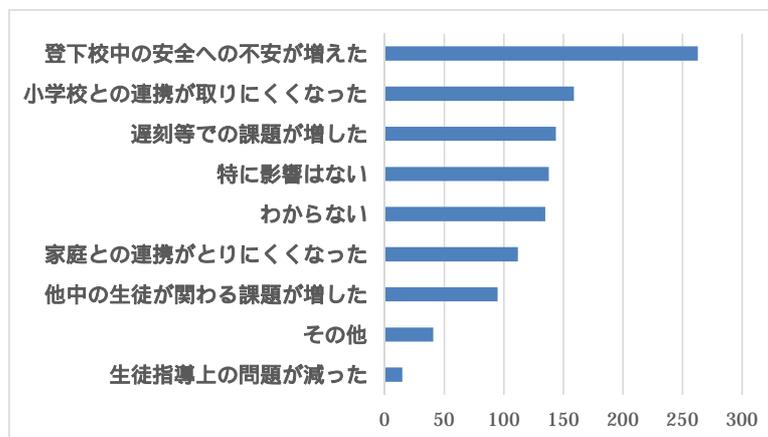
問4 あなたの学校では、学校選択制度によって、学校と地域（地域住民・町会・自治会等）とのつながりに影響があったと思いますか。（○は1つ）

1 つながりが強くなった	28	4.2%
2 つながりが弱くなった	59	8.8%
3 影響はない	241	35.8%
4 わからない	339	50.4%
5 その他	4	0.6%
無回答	2	0.3%
計	673	



問5 あなたの学校では、学校選択制度によって生徒指導面に影響があったと思いますか。  
( はい/いい/どちらでもない/いい/いい )

1	自覚が高まり、生徒指導上の問題が減った	15	1.4%
2	家庭との連携がとりにくくなった	112	10.2%
3	小学校との連携が取りにくくなった	159	14.4%
4	登下校中の安全への不安が増えた	263	23.9%
5	遅刻等生活指導面での課題が増した	144	13.1%
6	他の中学校の生徒が関わる生活指導面での課題が増した	95	8.6%
7	特に影響はない	138	12.5%
8	わからない	135	12.3%
9	その他	41	3.7%
計		1,102	

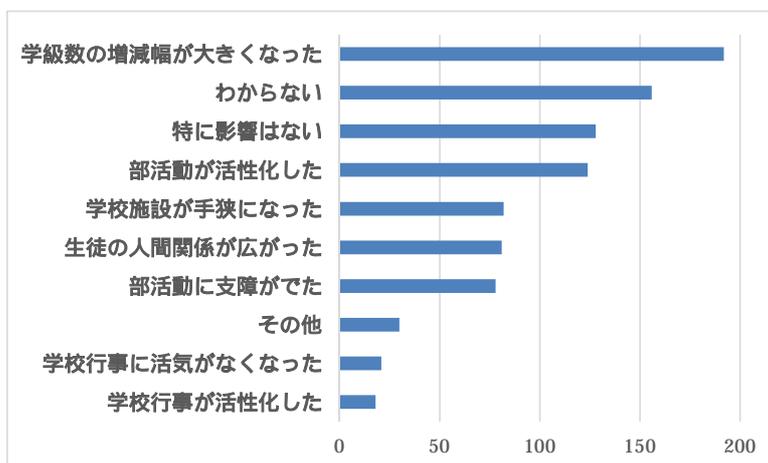


< その他の主な意見 >

- ・ 具合が悪い、ケガをした際の保護者対応に時間がかかる
- ・ 自転車の不正利用 / 携帯・スマホの所持、不正利用 / 登下校中の買い食い等
- ・ 提出物の遅れを過ぎたり、忘れ物したりしても遠いから再登校できないと言い訳する生徒への指導
- ・ 学校でのトラブル、不登校等になると、簡単に別の学校に転校できると考える生徒・保護者の増加
- ・ 他校との人関係による生徒指導の増加
- ・ 特別支援を要する生徒（地域外）の増加
- ・ 正直、良い影響は思いあたらない

問6 あなたの学校では、学校選択制度によって教育活動等に影響があったと思いますか。  
(はい/いいえ/どちらともいえない)

1 学校行事が活性化した	18	2.0%
2 部活動が活性化した	124	13.6%
3 生徒の人間関係が広がった	81	8.9%
4 年度によって学級数の増減の幅が大きくなった	192	21.1%
5 学校行事に活気がなくなった	21	2.3%
6 部活動に支障がでた	78	8.6%
7 学校施設が手狭になった	82	9.0%
8 特に影響はない	128	14.1%
9 わからない	156	17.1%
10 その他	30	3.3%
計	910	



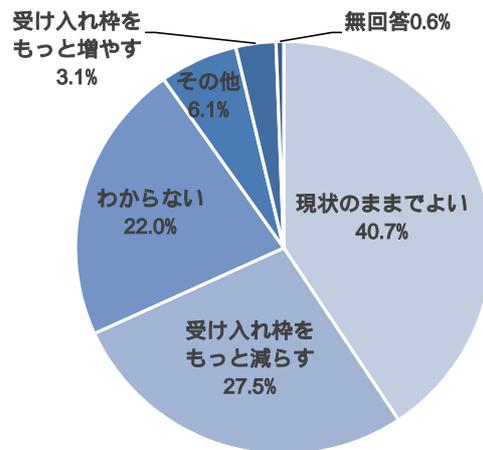
<その他の主な意見>

- ・ 生活指導が大変になった
- ・ 男女比のバランスが極端に悪く、教科指導に影響がある
- ・ 地元の子でない生徒が増え、地域の指導が行きとどかなくなった
- ・ 保護者や生徒を集めるために行事が増えて負担が増した
- ・ 放課後の再登校や緊急避難等の際、考慮すべきことが多くなった
- ・ 年度によって生徒数の増減の幅が大きくなった

問7 学校選択制度によって入学希望者が一部の学校に集中し、学校規模が過大になったり過小になったりすることが指摘されています。

これまでに制度の見直しを行い、学校規模の過大化、過小化への対応として、現在、通学区域外からの受け入れ枠を原則 40 人(1学級)としています。このことについて、どのようにお考えですか。( は1つ)

1 受け入れ枠をもっと増やす	21	3.1%
2 受け入れ枠をもっと減らす	185	27.5%
3 現状のままでよい	274	40.7%
4 わからない	148	22.0%
5 その他	41	6.1%
無回答	4	0.6%
計	673	

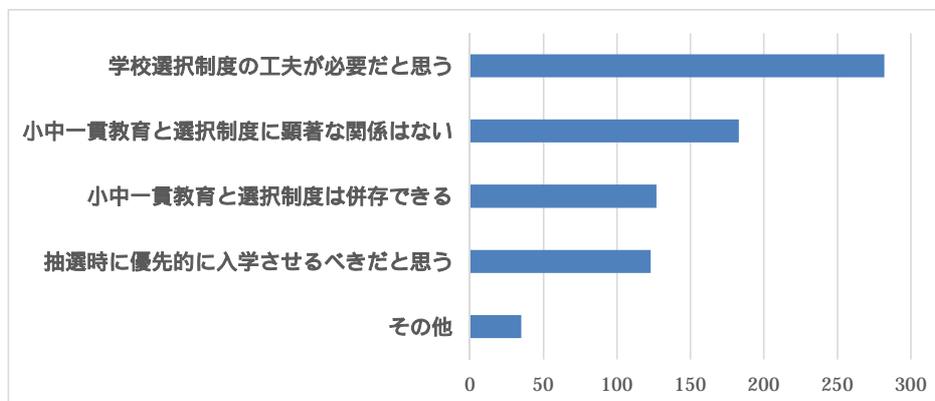


< その他の主な意見 >

- ・ 受け入れ枠は学校の規模(教室数)によって学校が決める
- ・ 学校から自宅の距離も考慮に入れるようにする
- ・ 公立を第一希望とする者を優先する
- ・ 原則、選択制を廃止し、特別な事情のある生徒のみ配慮する
- ・ 受け入れをなくす
- ・ 過小となった学校でも教員数を減らさず、少人数に手厚く対応する

問8 練馬区で進めている小中一貫教育と学校選択制度の関係について、どのようにお考えですか。( はいくつでも)

1	小中一貫教育は、子供たちが連携先の中学校に進学しなくても意味のあることなので、学校選択制度と小中一貫教育は併存できると思う	127	16.9%
2	小中一貫教育と学校選択制度との間に顕著な関係はない	183	24.4%
3	連携している中学校への入学を希望する児童については、学校選択制度の抽選において優先的に入学させるべきだと思う	123	16.4%
4	小中一貫教育を進めても、連携先の中学校に進学しない児童が多くなると意義がうすれてしまうので、学校選択制度の工夫が必要だと思う	282	37.6%
5	その他	35	4.7%
計		750	

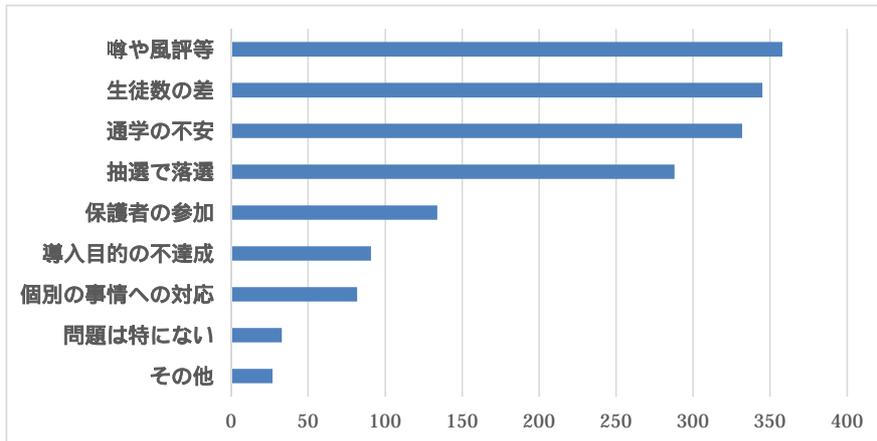


<その他の主な意見>

- ・ 連携していない小学校から入学した生徒へのフォローが必要
- ・ それぞれの制度の方針に矛盾がある
- ・ 小中一貫教育と選択制の両立は難しい

問9 学校選択制度について、次のような意見がありますが、あなたはどのように思いますか。あなたの考えに近い番号に をつけてください。( はいくつでも)

1	噂や風評等により学校を選択している場合が多くなる	358	21.2%
2	通学範囲が広くなり、通学の安全確保に不安が生じる	332	19.6%
3	自宅が学校から遠い家庭が多くなり、保護者が学校の取組に参加しづらくなる	134	7.9%
4	抽選に落選した生徒が、消極的な気持ちで入学する可能性がある	288	17.0%
5	抽選が実施された場合、個別の事情によって通学区域外の学校に行く必要がある生徒への対応が抽選後になる	82	4.9%
6	学校間の生徒数の差が広がる	345	20.4%
7	学校選択制度の導入目的(特色ある学校・学ぶことが楽しい学校・開かれた学校づくり等)が、達成されない	91	5.4%
8	問題は特にない	33	2.0%
9	その他	27	1.6%
計		1,690	

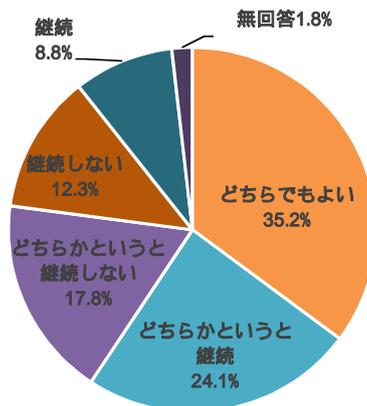


< その他の意見 >

- ・ 自ら選択して受けた教育が受けれた方がいい
- ・ 学区域だから入学するという意識(親子とも)から、選択して入学するという責任(選択した責任)を持たせるべき
- ・ 一部の事情(いじめ等)がある者を除いて選択は不要
- ・ 落選しても教育委員会へ問い合わせれば入学できると考える家庭が多い
- ・ 学校は努力するべきなので、特色をだすためには選択制という厳しさはあるべき
- ・ 私立等に進学の可能性のある生徒が選択した場合、入学者数が不確定となる

問 10 学校選択制度について、どう思いますか。（ は1つ）

1 継続の方がよい	59	8.8%
2 どちらかという継続の方がよい	162	24.1%
3 どちらでもよい	237	35.2%
4 どちらかという継続しない方がよい	120	17.8%
5 継続しない方がよい	83	12.3%
無回答	12	1.8%
計	673	



問 11 学校選択制度について、ご意見がありましたらご記入ください。

【主な意見】

〔選択制度全般に関する意見〕

- ・ 選択制度が無くなると、様々な事情で困る生徒が一定数いると思う。
- ・ 児童によっては個別の事情もあると思うので制度は必要。
- ・ 部活動の有無や、いじめる子が行かない学校を選んでいる事が多い。
- ・ 都立や私立へ進学する児童も多いので、それ以外の児童は学区制でよい。学区外に進学希望する児童の多くは、小学校でも支援が必要だった子や友人とのトラブルがあった子が多い。それなのに小中での連携がとりにくいのは本末転倒ではないのか。
- ・ 誰でもどこにでもではなく、特殊な事情がある生徒にのみ適用するなどした方がよい。
- ・ 特別な配慮が必要な生徒が中学校3年間を平和に安心して過ごすための配慮として学校選択はあるべき。学校同士を単に競わせることで区全体の底上げを図ろうとするのは、公立の在り方にはそぐわない。
- ・ 選択制度に反対ではないが、遠方であったり通学に公共機関の利用が必要である場合はあまり好ましくない。隣接区域や徒歩通学のみに限定するのが良い。

〔学校規模・教育内容に関する意見〕

- ・ どの学校に通っても同じレベルの教育が受けられることが公立校の良さだと思う。どこまで独自性を高めるか、また異動する教員が学校の特色を担うところにも難しさがある。
- ・ 施設の規模に応じて受け入れ人数を調整するべき。
- ・ 学校の規模が広がれば広がるほど、きめ細やかな指導が難しくなってしまう現状がある。メリットもあるがデメリットが大きいように思う。
- ・ 応募や受け入れ数の状況によって施設が手狭になることが大きな問題。小中一貫教育や学校選択制度の議論の前に、今の施設で十分な教育活動ができるかを考えるべき。
- ・ 小規模になると、学習活動、生活指導、特別支援とも、生徒間の関連や相互関係からは、改善することが非常に困難。最低でも1学年2学級は必要。
- ・ 学校側ではどうにもならない施設や校舎に関する格差を埋めなければ、導入目的の達成は難しいのではないかと。
- ・ 義務教育の学校は、地域の学校に通うのが最良であり、「特色」をつけて、選択させたり、競わせたりすることは、弊害しかない。どの学校も子どもを大事にする行き届いた教育を目指すべき。
- ・ 中学受験合格発表後にならないと、新入生の人数がはっきりしないので、次年度の教員の構成や教育計画に影響が大きい。

〔地域との関係に関する意見〕

- ・ 登下校の安全性や地域とのつながりを第一優先に考えてほしい。
- ・ 本来の地域の学校という目的が薄れ、地域に対する思いが育たなくなっている。

〔受け入れ人数・抽選に関する意見〕

- ・ 抽選に当選しても、国公立中合格後に辞退する例が見られる。当選後は必ず入学する。または、国公立受験者は抽選を希望しない等の制限が必要。
- ・ 国私立中を受ける場合は選択できない等の制限が必要。
- ・ 抽選に落選しても希望する学校への入学が毎年見受けられる。見直しが必要である。

〔その他の意見〕

- ・ 「生徒が集まらない学校はそれなりの理由がある」という気持ちを各校持って、努力を続けるべきだと思う。
- ・ 小中一貫教育との整合性に欠ける。
- ・ 「学校選択制度があるから」という理由でよりよい学校づくりをしているわけではない。制度がないと頑張れないと思われるのは悲しい。部活動も授業も目の前の生徒のために良いものにしたい。生徒の活動が満足に行えるよう、ある程度の生徒数は必要。一部の学校にだけ生徒が集まっても、練馬区全体の教育のレベルアップにはつながらない。
- ・ 学校選択をするなら小中一貫教育はやめる。小中一貫教育をやるなら学校選択はやめる。通学区域を見直す。
- ・ 練馬区は小中一貫教育に力を入れているが、連携校以外の学校から多くの入学があり、出身小学校全ての学校とは連携できていないので矛盾を感じる。